

フィンランド編 Part 1: EV充電プラットフォームを 提供するVirta社



Jussi Palola
CEO, Virta Ltd.

今号より3回シリーズで、JOI Venturesフィンランド編をお届けします。JOIとBusiness Finland Japan（駐日フィンランド大使館商務部）がタイアップして、日本でのビジネス拡大、日本企業との連携・協業を模索する、次世代を担う有望なベンチャー企業を紹介していきます。

今回は、電気自動車（EV）へ遠隔制御でスマート充電する機能や、EVユーザーの認証・決済機能などを統合したプラットフォーム技術を有するVirta社です。CEOのPalola氏にうかがいました。

Virta設立の背景、これまでの歩み、展開についてお聞かせください

フィンランドは、デジタルソリューションイノベーションの最前線の国です。われわれ、Virta創設者たちは、エネルギーシステムと輸送技術の研究開発を通じて、EV充電を事業化する計画を2008年に始動しま

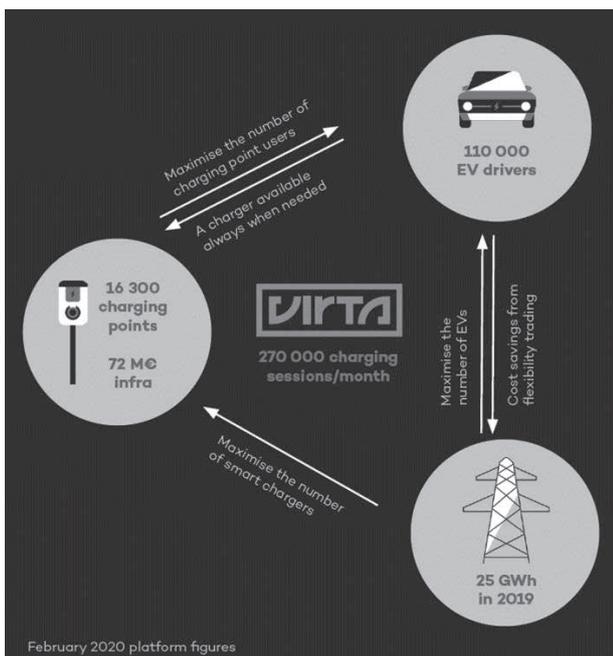
した。狙いは、使い勝手のよい充電プラットフォームの構築により、EVを日常生活およびエネルギーシステムに欠かせないパーツとして組み込んでいくことでした。この市場を成熟させるには、高い持久力と長期投資の力量が求められます。そのため、私と副CEOのElias Pöyryは、2012年より、フィンランド初のエネルギー事業者とともに、エネルギーグリッド、充電ステーション、ならびにEVをつなぎ、充電の需給を動的に集約して電力の流れを最適化し、取引コストを抑えて簡単に電力を売買可能にするデジタルプラットフォームの構築に着手しました。そして、B2B向けのEV充電事業を実現可能にするプラットフォームを構築するために、17のエネルギー事業者から出資をいただいてVirta Ltd.を設立しました。

Virtaは創業当初から国際的な企業です。スイスのswisscharge.ch社をはじめ、最初の段階から私たちの顧客になっていただいている海外企業は少なくありません。

Virtaは独立した企業であり、株主はすべて少数株主です。あらゆる種類の協力にオープンな社内体制をとっています。いくつかのパートナーとオープンで密接な協力をしてきました。これは、大きなエコシステムを形成し、モビリティ、エネルギー、ならびにデジタルセクター間の結合を実現していくために重要なことです。

すぐにVirtaはヨーロッパで急速に成長し、新しいパートナーが必要となりました。そして、ヨーロッパ最大のエネルギー企業であるE.ON社に投資家として参加いただき、VirtaのプラットフォームをベースにE.ONのEV充電インフラをパワーアップし、ヨーロッパ最大・最密規模のEV充電ステーションの構築に至りました。

私たちは、グローバル展開できるサービスを提供したいという考えから、世界中どこでもEVの充電インフラをサポートできるソリューションを志向しています。



EVや太陽光パネルなどの再生エネルギーは、電力グリッドにとっては電力負荷の変動要因であり、グリッドへの接続数が増えるほど変動幅は増大するという課題があります。私たちのプラットフォームは、EVならびに再生エネルギーが電力グリッドと最適なかたちで電力をやり取りすることを可能にします。

現在、28カ国で300を超える顧客（充電ネットワーク事業者）が50以上のブランドで、Virtaプラットフォームをベースにした充電サービス事業を行っています。Virtaはフィンランド、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンにオフィスを構えています。

当社は、インテリジェントEVの充電技術における革新的リーダーであり、ヨーロッパで2番目に大きなEV充電サービスプロバイダーです。

Virtaは市場平均の5倍の速度で成長しています。Financial Times誌の2020年「FT1000」で、欧州で最も成長が著しい企業としてランキングされました。

2020年春、ENEOSはVirtaへ出資、協業検討を発表しました。Virtaにとって日本は次のステップとして自然な選択でした。日本は世界3位の経済圏であり、EV市場の成長も加速しています。

また、日本とフィンランドの文化には共通点が多く、互いに親近感をもっています。日本企業とは快適な協力関係を構築できるのです。

Virtaの強みは何でしょうか

Virtaの強みは、すべてのソリューションをコスト効率に優れた方法で、また顧客企業のブランドとして、世界中で提供できることです。当社のマルチサイドプラットフォームは、EVエコシステムにおけるすべての主要プレーヤーを、迅速に、簡単に、コスト効率よく、スケーラブルな方法でつなげることができます。また、市場で最も優れたサービス品質と使いやすさを提供しています。

また、エネルギーセクターにおける専門知識も大きな強みです。Virtaは、EVがエネルギーシステムにおける重要かつフレキシブルな役割を果たしていくと考えています。たとえば、全世界のバッテリー容量の90%は、EV搭載のバッテリーが占めることになると予想されています。EVが自動車を新しい時代へと導くことになるでしょう。自動車が気候変動の責めを負うことはなくなり、それどころか、ゼロカーボン社会をもたらす資産となっていくでしょう。

市場調査によると、Virtaは現在、EVのエネルギーシステムへのエンドツーエンドな統合を世界で一番実

現している企業です。Virtaは、電動モビリティ、エネルギー、ならびにデジタルの3セクターを結びつける中心となっています。

日本企業との協業の可能性は？ また、どのような会社がVirtaとの相乗効果を生み出せるでしょうか

ENEOSは、業界におけるマーケットリーダーであり、Virtaにとって理想的なパートナーです。

Virtaは、ENEOSの幅広いサービスネットワークにおけるEV充電サービスという、バリュー・プロポジションを可能にします。クラウドベースのプラットフォームにより、たとえば、さまざまな支払いシステムの利用や、ガソリンスタンドなどの商業施設やプライベートな場所でのEV充電が可能で

ENEOSとの協力により、日本を中心に、アジア市場でのVirta事業が開始されます。ENEOSと連携することで、より多くの日本企業が顧客となると確信しています。私たちのプラットフォーム・サービスは、大規模な拠点網を有する企業、たとえば、小売りチェーンにとっても有益です。

将来のビジョンについてお聞かせください

Virtaはデジタル時代のエネルギー企業です。私たちのビジョンは、持続可能な暮らしへの移行を可能にすることです。人々の日常生活に電動モビリティをもたらし、EVを明日のエネルギーシステムの要としていきます。

デジタルプラットフォームは最終的にグローバルに成長し、Virtaも成長していきます。私たちは気候変動を解決するためのグローバルエコシステムを構築しています。このエコシステムは自動車産業、エネルギー産業、デジタル産業で構成されています。ENEOSと同様の地域パートナーの開拓を世界各地で進めていきます。

お問い合わせ

JOI事業企画部

E-mail: bd@joi.or.jp, TEL: 03-5210-3311

Jussi Palola, CEO, Virta Ltd.

<https://www.virta.global/>

Business Finland Japan

(駐日フィンランド大使館商務部)

上席商務官 渥美 栄司

E-mail: eiji.atsumi@businessfinland.fi

<https://www.businessfinland.fi/en/locations/asia-india-and-oceania/japan/>